

科目区分	専門基礎分野	授業科目	解剖生理学 I
講師名		実務経験の有無	無
単位数(時間)	1 単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: 人体の器官・臓器の形態・構造と機能、およびそれらが互いに作用しあう機構であることと日常生活のしくみについて理解し、科学的視点を踏まえた看護実践を行うための基礎的能力を養う。 目標: 1 人体の構造を理解できる。 2 体の支持となる骨格・筋の構造と働きを理解できる。 3 人体の発生・成長と老化を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 人体の構造と機能	10	1 人体とは 2 人体の素材としての細胞・組織 3 身体各部の名称 4 構造と機能からみた人体	
2 体の支持と運動	10	1 骨格とは 2 骨の連結 3 骨格筋 4 体幹・上肢・下肢・頭頸部の骨格と筋 5 筋の収縮	
3 人体の発生・成長と老化	9	1 男性生殖器 2 女性生殖器 3 受精と胎児の発生 4 成長と老化	
	1	試験	
評価方法		筆記試験	
テキスト		医学書院 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 廣川書店 カラースケッチブック解剖学 第4版 医学教育出版社 解剖トレーニングノート 第7版	
参考資料			
履修上の留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。 積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。	
備 考			

科目区分	専門基礎分野	授業科目	解剖生理学Ⅱ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1 単位(30 時間)	開講年次	1 年次
目的: 人体の器官・臓器の形態・構造と機能、およびそれらが互いに作用しあう機構であることと日常生活行動のしくみについて理解し、科学的視点を踏まえた看護実践を行うための基礎的能力を養う。 目標: 1 呼吸と血液の循環の構造と機能を理解できる。 2 内臓機能の調節を理解できる。 3 外部環境からの防御を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 呼吸と血液の循環	15	1 呼吸器の構造 2 呼吸の機能 3 循環器系の構成 4 心臓の構造 5 心臓の拍出機能 6 末梢循環系の構造 7 血液の循環とその調節 8 リンパ管の構造とリンパの循環 9 血液の成分と機能	
2 内臓機能の調節	12	1 自律神経による調節 1) 自律神経系の構造 2) 自律神経の調整 2 内分泌系による調節 1) 内分泌系の構造 2) 全身の内分泌腺と内分泌細胞 3 ホルモン分泌の調節	
3 外部環境からの防御	2	1 皮膚の構造と機能 1) 皮膚の構造 2) 皮膚の機能 2 粘膜の構造と機能 1) 粘膜の構造 2) 粘膜の機能 3 生体の防御機構 1) 非特異的防御機構 2) 非特異的防御機構—免疫 4 体温とその調節 1) 熱産生のメカニズム 2) 体温調節のメカニズム	
	1	試験	
評価方法		筆記試験	
テキスト		医学書院 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 廣川書店 カラースケッチブック解剖学 第4版 医学教育出版社 解剖トレーニングノート 第7版 サイオ出版 ワークアウト解剖生理ブック	

参考資料	
履修上の 留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。
備 考	